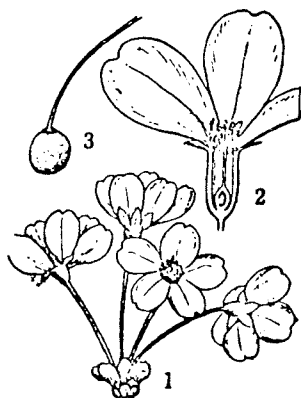




バラ科 ソメイヨシノ *Prunus yedoensis* 1花序 2花の縦断面
3果実(枝果)

■ ソメイヨシノザクラ *P. yedoensis*
は、徳川時代の末に江戸にできたもので、東京染井(現豊島区駒込染井)は、江戸時代は植木屋の多いところで、その伊藤某という者がオオシマザクラ *P. speciosa* を母として数十年の苦心のすえ作りだしたという。当時は、交通が不便で、吉野山の美しいのを聞いて、行ってみるということは、なかなかできなかった。そこで、このサクラにヨシノザクラという名をつけて売りだしたところ、花がみごとなので、吉野山のサクラは、こんなにも美しいものかと、おおくの人がきそって買って植えたため、たちまち江戸一帯に広まってしまった。明治18～19年ころになって藤野寄命という人が上野公園のサクラを調べたところ、ヨシノザクラが吉野山のサクラとは、まったく別のものであることがわかり、このサクラの出どころ、染井の名をとって、ソメイヨシノザクラと名づけた。しかし、その正体は久しくわからなかった。国立遺伝学研究所の竹中要博士は、近年オオシマザクラとウバヒガンザクラとをかけあわせて、この作出に成功した。新潟県の加治川堤は、このサクラの名所である。

定について組合員と討論しなければならぬ時期が迫って来ました。仲々の理論家が多くて大変なことと覚悟しております。過日の場内ソフトボール大会で十割の打率で頑張りました。バレー、ピンポンなど若い者と一緒に楽しんでおります。会員諸兄の御発展を祈ります。

吉阪 昭治(旧高21) 丸紅飯田
今年の一月よりロンドンに家族共々赴任いたしております。

吉田 利雄(旧高10) 東洋ケミ
昨年は親会社三井東庄と東レとの合併会社東洋ケミックスの方に出向、常務取締役就任致しました。

新会社は三井霞が関ビル八階にありますので近辺にお出向の際は是非お寄り下さい。

時々成蹊マンとGolfをやっております。成蹊会でもGolf会あらば出席予定。

吉村 純男(旧高11) イハラケ
業ミカル工
私のクラスには金もうけのうま

い奴がいなのが残念です。大体に於いて人のよいのが取柄でしょう。遠方の地を除いてクラス会の欠席者はきまっております。健康である限り是非出席して下さい。

竜前 嘉津子(女4)(旧姓岸井)
花を見るとつくづく思います。盛りの鮮さに比べておとろえた姿の情無さ、自分にひきくらべてゾッとなりますが、仕合せと友人に不死身だの達人だのと云われるほど、忙しく働きまわっております。どなたも御一緒に健康でゆきたいものと思ひます。ではお元気で。

若尾 公人(小33) 第一銀行
大阪駐在の組合専従。勤銀さんとの合併あり、忙しくなりそうです。

若松 舜児(政経4) 若松産業
趣味を兼ねて先般萩焼の窯元を造り、優秀な技術者を迎えて格調高い作品が出来ております。主として茶器ですが、抹茶碗を最高二十万円で買上げいただいた実績

もあり、萩焼陶工の中年層では五指の中に入り、将来が期待されてお楽しみで。

尚四十五年度は全国林材青壮年団体連合会の副会長として、しばしば上京をしておりますが、多忙の為、学園にも顔を出しておりません。当人は至って元気です。

脇村 孝三郎(旧高9) 林業
五月十二日文春主催の講演会で有馬頼義君が南紀田辺へ来てくれた。後援団体の青年会議所初代理事長金谷照男君は成蹊大学二回生、成蹊人三人が集まって吉祥寺の思い出話をしました。

渡辺 成章(政経12) 第一銀行
社会人となり、はや九年の年月を経て、今や二児のパパとなりました。上は男児にて本年より幼稚園、下は女児にて五カ月目、毎日になやかなことです。

小生の勤務先第一銀行は本年十月より勧業銀行と合併、第一勧業銀行となります。後輩の方々の来行をお待ちしております。

渡辺 千春(旧高7) 府中医王
七蹊会の年次例会(六月第三土曜成蹊クラブ)が定着した感じ。この次の目標は家族ぐるみの会というところ、あゝ歳だなアと思う。

成蹊の夏の学校とは、まだおつきあいしているが、これはよく続いたもの。大学生の質は年々よくなっているといふはうれしい。「先輩」として週一回の講義を勤めてます。

会員動静

のご寄稿について

会員動静については毎々多数の会員から玉稿をお寄せ頂き厚く御礼申し上げます。お読み下さればお分りのとおり、友人の動静はもとより、未知の同窓生の短信からも成蹊人らしい雰囲気を感じて、微笑ましい感じがいたします。

会員動静は年に一回成蹊会誌に掲載しておりますが、この原稿は、会員総会の委任状(毎年五月中旬発送)の会員動静欄から転載しております。今後とも何卒ご応募下さいませ。すようお待ちしております。(編集部)

成蹊学園近況

一、成蹊学園学事報告

国は、私学振興に関する施設として、本年度より私学の経常費に補助金を交付したが、本学園は優良校として、当初の配分基準をうわ回った補助金の交付をうけた。

一方、昭和四十六年三月本大学大学院文学研究科修士課程の増設が認可された。ここに四研究科が設置され、いよいよ最高学府としての形態を整えた。

小・中・高においては、昭和四十六年度より小学校を皮切りに、昭和四十八年度までに行われる学習指導要領改訂なども関連して、学習指導の研究に専心した。

小学校は、行き届いた教育の徹底を志向し、学級定員を漸減した。特に人格形成教育、更には「自学の時間」の設定を各学年にひろげ、自主・自律の学習態度を培うことに重点をおいた。又往年よりの二つの懸案、すなわち校舎新築については、第一期工事が完成し、隔週五日制実施については、最終的準備を終えた。

高等学校においては、一昨年に引続き生徒個人の適性進路に適應する教育課程を実施した。教育効果をたかめるため、中高一貫教育の研究も行われた。

特別学級は、二教室が増築された。授業は年令別学年制にこだわらず、能力別、個別的指導に重点がおかれ、学力の向上をはかった。

施設関係については、小学校校舎・高等学校部室の新築、大学11号館実験室・茶道部室などの改造、21号館(特別学級教室)の増築など、延二、八七七平方メートル(八七〇、七二坪)が増加し、職員集会場・小学校旧音楽室などが取毀われ、五六一平方メートル(一六九、九八坪)が減少した。

二、組織

□学校法人成蹊学園理事・監事

理事長	小笠原光雄	三菱銀行相談役
常務理事	岡野保次郎	三菱重工業相談役
〃	〇丹羽 孝三	成蹊学園総務局長
〃	〇栗原美能留	成蹊中・高校長
理事	〇朝倉 孝吉	成蹊大学経済学部長
〃	石井 照久	成蹊大学長
〃	〇石坂 泰彦	三菱銀行
〃	岩崎 忠雄	三菱モントロ化成専務取締役
〃	榎本 信助	成蹊大学工学部長
〃	賀集 益蔵	三菱レイヨン相談役
〃	笠原 逸二	極東貿易相談役
〃	〇木梨 信彦	日本鯉蟹缶詰販売副社長
〃	〇河野 義克	東京市政調査会理事長
〃	〇猿山 昌平	日本無線副社長
〃	〇瀬木 庸介	博報堂社長
〃	高杉 晋一	三菱電機相談役
〃	野村 純三	成蹊小学校長

学 部	入 学 志願者数	受 験 者 数	入 学 手 続 完了者数 (A)	内 部 進 学 手続完了者数 (B)	入 学 手 続 完了者計 (A+B)
大学院工学研究科(修士)				19	19
大学院工学研究科(博士)				1	1
〃 経済学研究科(修士)	3	3	1	4	5
〃 法学研究科(修士)	5	5	2	4	6
大 学 経 済 学 部	3,030	2,955	410	85	495
〃 工 学 部	2,024	1,671	256	40	296
〃 文 学 部	2,188	1,940	414	21	435
〃 法 学 部	2,603	2,484	327	50	377
高 等 学 校	549	532	108	261	369
中 学 校	439	433	140	134	274
小 学 校	308	297	120	—	120

注 B欄大学は推せん入学による。中・高は国際特別学級を含む

四、昭和四十六年四月入学生

経 理 部	総 務 部	成 蹊 学 園 総 務 局	成 蹊 小 学 校	成 蹊 中 学 校	成 蹊 高 等 学 校	法 学 部	文 学 部	工 学 部	経 済 学 部	成 蹊 大 学	成 蹊 学 園	監 事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
部長 鷺山要	部長 国分勇雄	部長 丹羽孝三	校長 野村純三	校長 栗原美能留	校長 栗原美能留	部長 山田 晨	部長 福与 正治	部長 榎本 信助	部長 朝倉 孝吉	部長 石井 照久	部長 丹羽 孝三	総長 事務取扱 小笠原光雄	〇池田 謙蔵	〇吉野 栄一	〇山田 晨	〇村上 藤太	〇宗像 英二	〇水沢 謙三	〇堀田 庄三	〇福与 正治
													明治生命保険相互会長	三菱信託銀行相談役	東京精機工業社長	成蹊大学法学部長	王子製紙常任監査役	日本原子力研究所理事	東京海上火災保険会長	住友銀行会長

項 目	研究科 学部	大 学 院 工学研究科		学 部				計
		博士	修士	経済学部	工学部	文学部	法学部	
進 学	大 学 院	0	0	6	19(1)	8(7)	7	40(8)
	他大学学部	0	0	5	4	5(4)	1	15(4)
	研 究 生	0	0	1	5	1(1)	2	9(1)
	留 学 生	0	0	1	3	2(2)	2	8(2)
	小 計	0	0	13	31(1)	16(14)	12	72(15)
就 職	就 職 者	2	8	223(13)	199(2)	156(121)	142(5)	720(141)
	就職率(%)	100	100	100%	100%	100%	100%	100%
	小 計	2	8	223(13)	199(2)	156(121)	142(5)	720(141)
そ の 他	家業継承	0	0	18	1	7(4)	7(1)	33(5)
	家事手伝	0	0	3(3)	0	140(140)	12(12)	155(155)
	そ の 他	0	0	4	0	15	16	35
	小 計	0	0	25(3)	1	162(144)	35(13)	223(160)
合 計		2	8	261(16)	231(3)	334(279)	189(18)	1,015(316)

注 () は女子内数

五、昭和四十六年三月大学卒業生の就職・進学状況

所 属		教職員数	在 学 生 数		
			男	女	計
大 学	経 済 学 部	101	1,563(1)	56	1,620
	工 学 部	156	1,037(36)	17	1,090
	文 学 部	120	428	1,080	1,508
	法 学 部	89	1,187(3)	101(1)	1,292
	小 計	466	4,255	1,255	5,510
高 等 学 校		85	771	270	1,041
中 学 校		57	548	269	817
小 学 校		31	510	268	778
国 際 特 別 学 級		12	27	14	41
小 計		185	1,856	821	2,677
事務・技術・労務職員		221			
合 計		872	6,111	2,076	8,187

注 大学在学生数の()内数字は大学院学生数を示す。

三、教職員及び在学生数

(昭和四十六年三月三十一日現在)

六、高等学校卒業生進学先

(昭和四十六年三月末日現在)

大学名	入学数	大学名	入学数
成蹊大学	85(11)	日本医科大学	1
経済学部	42(4)	昭和大学	2(1)
工学部	21(18)	北里大学	2(2)
文学部	50(6)	杏林医科大学	1
法学部	1	日本歯科大学	3(1)
東京大学	1	東京歯科大学	1
東京工業大学	1	東京女子大学	1(1)
北海道大学	1	日本女子大学	1(1)
お茶の水女子大学	1(1)	武蔵野美術短期大学	1(1)
慶応大学	10(4)	明治薬科大学	1(1)
早稲田大学	2	聖心女子大学	1(1)
上智大学	5(5)	鶴見女子大学	1(1)
日本大学	5(1)	文化女子短期大学	1(1)
東海大学	1	国立音楽大学	2(2)
慈恵医科大学	1		
順天堂医科大学	1		

注 () は女子内数

(成蹊学園近況の資料は成蹊学園学務部の提供によりました)

成蹊会近況

昭和四十六年一月一日
昭和四十六年七月三十一日

一、人 事

○同窓会会長・副会長

一、やよい会 (一月二十三日・総会)

会長 武部真佐子 (8)

副会長 丹羽 靖子 (8)

二、池袋同窓会 (二月二十日・総会)

会長 赤星 平馬 (中学8)

副会長 後藤 精一 (専門2)

三、工学部同窓会 (四月一日・委員会)

会長 松井 靖夫 (機1)

副会長 石郷岡 猛 (電1)

四、高校同窓会 (四月十五日・委員会)

会長 城戸 毅 (5)

副会長 梶谷 玄 (4)

五、小学校同窓会 (四月十六日・委員会)

会長 朝川 澄夫 (5)

副会長 小布施志郎 (10)

太田 浪三 (17)

六、政治経済学部同窓会 (四月二十一日・委員会)

会長 戸塚 新 (1)

副会長 福井 純一 (1) 安田 敬一 (2)

七、高校 (旧制) 同窓会 (四月二十二日・委員会)

会長 河野 義克 (6)

副会長 松本 良祐 (8) 今村 知雄 (10)

(任期・昭和四十六年四月一日～四十八年三月三十一日)

○支部長

一、東海支部 (一月七日・総会)

支部長 柴田二三男 (旧高6)

二、東北支部 (六月十二日・総会)

支部長 田中 信行 (旧高12)

(任期・総会の日から二カ年)

○評議員 (五月二十五日・会員総会)

○理事・監事 (六月二十八日・評議員会)

○印理事・二十二名 △印監事・三名 無印評議員・八十八名

相川 泰吉 (中13) 三菱江戸川化学

青葉 翰於 (実8) 日本経済調査協議会

○赤星 平馬 (中8) 小岩井農牧

浅田 澄夫 (政経10) 三菱金属鉱業

○朝川 澄夫 (小5) 安藤建設

朝倉 孝吉 (旧高16) 成蹊大学

芦沢 直保 (政経5) 芦沢ビル

荒木 昌保 (政経1) 荒木研究所

栗飯原 景昭 (旧高20) 国立予防衛生研究所

井口 史郎 (専2) 三菱自動車販売

○井本 農一 (旧高6) お茶の水女子大学

伊集院 董 (旧高12) リラックス指圧院

伊臣 真子 (女12) 美崎部品

碓本 勘二 (政経108) ゼネラル石油

池田 孝夫 (政経1210) 三菱化成工業

池田 保彦 (旧高7) 成蹊大学

○石郷岡 猛 (工電1) 三菱商事

石田 恭一 (政経9) 日本国有鉄道

石田 義雄 (高13) 東海大学

今井 嘉道 (中5) 伊豆急行

○今村 知雄 (旧高10) 三菱銀行

岩崎 寛弥 (旧高23) 三菱石油

蛭沢 秀孝 (工化1) 三菱石油

大久保 通忠 (中10) 成蹊小学校

大類 袈沙吉 (実1) 日新火災海上保険

△岡田 貞資 (専4) 三島製紙

加藤 英夫 (中2) 弁護士

○梶谷 玄 (高4) 慶応大学 (学生)

河北 博文 (高20) 日本鯉蟹缶詰販売

△木梨 信彦 (旧高2) 東京大学

○城戸 毅 (高5)

北島裕子(女 22) 三菱化成工業
久我太郎(旧高16) 成蹊中高等学校
栗原美能留(中 4) 三菱銀行
栗村汪(政経7) 三菱銀行
小島明(政経4) セイビ
○小布施志郎(小 10) 三菱電機
○後藤精一(専 2) 東京市政調査会
○河野義克(旧高6) 富士スレート
佐藤信一(政経2) 東京大学
佐藤浩之助(高 15) リンレイ
竿代靖(実 6) 三菱レイヨン
齊藤修造(高 9) 日本電気
齊藤富彦(工経1) 博報堂
酒井四平(政経2) 富士銀行
○桜井晴彦(高経8) 日本無線
○猿山昌平(実 9) 三菱油化
島田喜久子(女 17) 芝栄商事
清水英紀(政経8) 三菱樹脂
白川孝三(専 5) シボレックス販売
菅原彦一(高経9) 博報堂
○瀬木庸介(政経1) 田中特許事務所
田中栄一郎(旧高9) 鵜飼産業
田中博次(中 8) 高田 享(実 11)

高橋元雄(実 8) 帝石テルナイト工業
○武部真佐子(女 8) 警視庁
立花昌雄(高 6) 成蹊会
○谷岡喜久蔵(旧高11) アカネ商会
○戸塚新(政経1) 三菱金属鉱業
外村幸男(小 10) 日本藻類研究所
中村浩(旧高3) 東京衡機製造所
南部鎮雄(旧高1) 成蹊学園
丹羽孝三(専 3) 帝人
丹羽靖子(女 8) 三菱石油
西川泰(政経6) 味ノ素
林醇一郎(高経112) アメリカ大使館
日野哲雄(旧高17) アメリカ大使館
樋口多嘉子(小 14) 三菱液化瓦斯
○広瀬行夫(高経4) 博報堂
○福井純一(政経1) 東衡技術研究所
○松井靖夫(工機1) ジック
松平直寿(旧高18) 養和会
松本秀次郎(専別2) 博報堂
○松本良祐(旧高8) 三木電機製作所
○三木喬(政経11) 日本原子力研究所
○宗像英二(旧高1) 王子製紙
○村上藤太(中 5) 旭硝子
村上正夫(旧高1) 旭硝子

△森 新太郎(旧高1) ニュートーキョー
○安田敬一(政経2) 扇屋

山岡均晴(高 19) 和光大学(学生)
山崎英也(旧高19) 東京都庁

山内理(政経3) 三菱自動車工業

若林正俊(高 4) 農林省

渡辺一美(専 5) 明星大学

渡辺佳英(旧高8) 東洋バルブ

(理事の任期 昭和四十六年六月二十八日～四十八年六月二十七日)
(評議員の任期 昭和四十六年五月二十五日～四十八年五月二十五日)

○会長・副会長・常務理事(七月十六日・理事会)

会長 宗像英二(旧高1)
副会長 赤星平馬(中 8)

河野義克(旧高6)

戸塚新(政経1)

常務理事 谷岡喜久蔵(旧高11)

○特別委員会委員(七月十六日・理事会) ○印は委員長
財務委員会 一〇名

○岡田貞資(専門4) 日新火災海上保険
佐藤信一(政経2) 富士スレート
生野専吉(旧高6) 三井信託銀行
田山正男(旧高1) 三菱石油
高尾泰弘(中 5) 東京電気化学工業
高橋元雄(実務8) 帝石テルナイト工業

内藤 薫(旧高12) 三菱信託銀行
平塚保明(旧高1) 金属鉱物探鉱促進事業団
藤田譲次(中 3) 日本フエイウィック
村上正夫(旧高1) 旭硝子
成蹊クラブ委員会 一〇名

安双久夫(旧高21) 博報堂

伊東明(専 3) ソニー

大江宏(旧高7) 大江建築事務所

菅野建雄(政経13) 博報堂

齊藤敏夫(政経2) 齊藤税務会計事務所

酒井四平(政経2) 博報堂

渋谷栄一(旧高24) 伝建築事務所

清宮道信(旧高6) 佐藤製衡所

三野明彦(旧高5) 三菱地所

○森 新太郎(旧高1) ニュートーキョー

育英奨学委員会 一〇名

栗飯原景昭(旧高20) 厚生省国立予防衛生研究所

○井本農一(旧高6) お茶の水女子大学

伊集院 董(旧高12) リラックス指圧治療院

岩崎英二郎(旧高15) 慶応大学

小原正弘(旧高5) 昭和リース

鹿毛達雄(高 5) 明治学院大学

兼子 仁(高 4) 東京都立大学

佐藤 敏雄(政経9) 菱電商事

中川 敏 統 (工機一) 日本電熱
三好 道 矢 (旧高一) 三友ビル

○特別会員の任期 昭和四十六年七月十六日～四十八年七月十五日)

○特別会員の任期 昭和四十六年七月十六日・理事会) ○印は卒業生

経済学部 ○山口 真一 (教授)

工学部 ○三橋 啓了 (教授)

文学部 服部 隆一 (専任講師) 三角 正明 (専任講師)

川口 劉二 (教授) 三木 紀人 (助教授)

中村 八朗 (助教授)

山口 欣次 (助教授)

法学部 金沢 良雄 (教授) 大石 五雄 (専任講師)

中学校 ○吉田 昭彦 (教諭)

小学校 岡崎 忠彦 (教諭)

総務局 佐々木貞一 (文学部教務課長)

平山 芳照 (就職事務室事務長)

二、会 議

○会員総会

一、第十六回会員総会 (五月二十五日)

(一) 成蹊会定款の一部を変更する件 (規定の項参照)

(二) 昭和四十五年事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案承認の件

(三) 財産目録 (昭和四十六年三月三十一日現在) 承認の件

(四) 昭和四十六年度事業計画及び収支予算案承認の件

(五) 昭和四十五年度成蹊クラブ収支決算報告の件

○同窓会

一、やよい会総会 (一月二十三日)

二、池袋同窓会総会 (二月二十日)

三、工学部同窓会委員会 (四月一日)

四、高校同窓会委員会 (四月十五日)

五、小学校同窓会委員会 (四月十六日)

六、政経学部同窓会委員会 (四月二十一日)

七、高校 (旧制) 同窓会委員会 (四月二十二日)

以上の共通議題役員選任の件 (人事の項参照)

○支部会

一、東海支部会 (一月七日・名古屋市) (人事の項参照)

二、九州支部会 (一月九日・福岡市)

三、北海道支部会 (二月二十日・札幌市)

四、東北支部会 (六月十二日・仙台市) (人事の項参照)

五、関西支部会 (六月二十五日・大阪市)

六、千葉支部会 (七月三日・千葉市)

注 会議に付議されました議案は凡て可決承認されておりま
す。なお予算・決算等につきましては、昭和四十五年度事業報
告書・収支決算報告書及び昭和四十六年度事業計画書・収支予
算書 (正会員に配付済) をごらん願います。

(四) 成蹊会評議員選任の件 (人事の項参照)

○理事会

一、第五回理事会 (三月二十九日)

(一) 昭和四十六年度事業計画及び収支予算案承認の件

(二) 成蹊会定款の一部を変更する件 (規定の項参照)

二、第六回理事会 (五月十七日)

(一) 昭和四十五年事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案承認の件

(二) 財産目録 (昭和四十六年三月三十一日現在) 承認の件

三、第一回 (改選) 理事会 (七月十六日)

(一) 会長・副会長・常務理事選任の件 (人事の項参照)

(二) 特別会員の推薦の件 (人事の項参照)

(三) 特別委員会委員選任の件 (人事の項参照)

(四) 評議員会 (六月二十八日)

一、成蹊会理事及び監事選任の件 (人事の項参照)

二、特別委員会

一、育英奨学委員会 (六月二十三日)

(一) 昭和四十五年度育英奨学事業報告の件

(二) 昭和四十六年度育英奨学事業計画の件

二、財務委員会 (六月三十日)

(一) 昭和四十五年度成蹊会財務報告の件

(二) 育英奨学委員会 (七月一日)

(一) 昭和四十六年度育英奨学学生選定の件 (事業の項参照)

四、成蹊クラブ運営委員会 (七月九日)

三、事 業

○会員名簿発行 (二月一日)

九、五〇〇部 (七百三十三頁)

○成蹊会誌第三十三号発行 (二月十五日)

二、〇〇〇部 (四十八頁)

○枯林忌 (二月二十日・巢鴨養和会)

成蹊学園創立者中村春二 (枯林) 先生の墓参と追悼会

○寄付

一、成蹊小学校新築落成記念 (五月十九日)

金一〇〇、〇〇〇円

二、成蹊大学第三回レガッタハボートレース (六月六日)

記念参加章としてメタル六五〇個を寄贈

三、オーストラリア高校生招待入成蹊高校 (六月十七日)

金二五〇、〇〇〇円

○昭和四十六年度育英奨学学生 (七月一日・育英奨学委員会)

一、新規採用者 十一名

大学院 佐藤 正雄 (経・修一年) 石丸 琴弥 (法・修一年)

経済学部 小山 真人 (二年) 村塚 公紳 (三年)

工学部 河崎 雅治 (二年)

文学部 増田えり子 (二年) 宮本 昭子 (二年)

法学部 小西 京子 (三年) 田中 宏 (三年)

森 博一 (三年) 山田 友信 (三年)

二、継続者 二十二名

大学院 加藤 泰男(工・修二年) 中川原進一郎(法・修二年)
経済学部 阿蘇 茂(四年) 山内 文裕(四年)

太田 則義(四年) 菊地 純(四年)

田中 典夫(四年) 石上 文雄(三年)

小池 学而(三年) 古田 彰徳(三年)

山田 芳和(三年) 町田 厚美(三年)

江口徳次郎(三年) 岡野 孝(二年)

工学部 伊東 泰敏(四年) 鈴木 良典(四年)

戸谷 永生(四年)

法学部 梶原 修治(四年) 綿引 慶三(四年)

堀池 真一(四年) 清水 公平(三年)

刀根 譲(三年)

三、昭和四十六年度育英奨学金

新規採用者(十一名) 七〇八、〇〇〇円

継続者(二十二名) 一、三六八、〇〇〇円

合計(三十三名) 二、〇七六、〇〇〇円

四、育英奨学金貸与額

学部学生 一ヵ月 五、〇〇〇円

大学院学生 一ヵ月 七、〇〇〇円

四、規定

○成議会定款の一部変更 (三月二十九日・理事
五月二十五日・会員総会
七月二十三日・文部大臣認可)

現行 第六条 この法人の会員の種別は次の通りとする。

会費芳名録

昭和四十五年十二月三十一日
昭和四十六年七月三十一日

昭和四十六年三月卒業生

終身会費払込者

(終身会費 七、五〇〇円)

高等学校第二十二回生 三三八名

小学校第五十五回生 七名(外部進学者)

大学経済学部第二回生 二五六名

大学工学部第六回生 一二四名

大学文学部第三回生 三三四名

大学法学部第二回生 一八八名

右の学校新卒業生は在校学生会費積立制度により卒業と同時に終身会費払込完了。

終身会費払込者

(終身会費 七、五〇〇円)

青木 節夫	青盛 規	板谷 亨	稲山 貴一	赤松 明	秋元 直光
阿部 昌彦	相川 佳久	井戸川 徹	井口 恵美子	有吉 照	有吉 照
安藤 捷郎	安藤 由丸	井草 洋太郎	井口 恵美子	有吉 照	有吉 照

高津 隆保	田中 美恵子	瀬尾 君雄	杉村 太弘	島村 弘之	篠原 武裕	佐藤 裕	佐藤 隆	佐藤 俊	小柳 和生	小林 人	小池 徹	久保 子	北島 徹	菊池 泉	木村 昭	唐沢 俊	神谷 恵美子	金沢 清	梶浦 正	織田 政一	沖山 敏	尾崎 弘	上田 直樹
高塚 雅夫	高島 綱次郎	鈴木 嗣	白地 恭一	下村 和也	嶋田 一郎	阪田 伸	斉藤 忠	佐藤 隆	佐藤 俊	小林 正	小林 一	小岩井 貴	郡司 豊	金城 宏	木村 正	冠木 弘	河村 浩	金屋 澄	香月 住	奥野 成	大野 章	小笠原 三	岩垂 薫
美馬 又郎	松浦 剛	松田 洋史	前田 恵彦	細田 晴	藤井 正	福田 重	樋口 重	早川 重	萩原 政	長谷川 一郎	野村 恒	野村 昭	西田 昭	長久保 三	永井 彰	中野 豊	中島 真	中川 義	富岡 淳	土岐 洋	角倉 朗	丹野 昭	高柳 毅
溝上 俊夫	三井 善	三井 信	松田 康	堀田 充	星井 浩	福井 建	原 治	浜田 弘	秦 順	長谷川 佳	長谷川 恭	野村 登	野村 邦	榎崎 研	永田 健	中井 泰	中溝 利	中沢 真	中岡 倫	豊島 克	杉内 典	徳田 秋	津留崎 房

一、普通会員 各学校の同窓会の会員。
二、正会員 普通会員のうち会費年額五〇〇円又は終身会費として七、五〇〇円を納める者

変更(ゴチック文字が変更箇所)
第六条 この法人の会員の種別は次の通りとする。

一、普通会員 各学校の同窓会の会員。

二、正会員 普通会員のうち会費年額七〇〇円又は終身会費として一〇、〇〇〇円を納める者。

変更の趣旨及び目的

本会の会費は昭和三十年三月(法人設立時)年額会費三〇〇円終身会費五、〇〇〇円、昭和三十九年三月年額会費五〇〇円終身会費七、五〇〇円(現行)に変更したが、七年を経た今日、物価等の上昇率からみて現行の会費では本会を維持発展することが困難となつて参りました。

一例をあげれば最近発行の会員名簿(七三三頁)は印刷費、梱包費、郵送費を含めて約六〇〇円(調査費、人件費等は別)を要しております。

以上のような実状でございまして、このたび年額会費を七〇〇円、終身会費一〇、〇〇〇円に改定したいと考えております。なお、この改定は既納の会員には適用せず、新入正会員のみを対象といたします。また新卒業生につきましては在学中からの積立金の運用益により増額分を補いたいと考え、従来のまま据置きといたしますが、大学については一回につき一〇〇〇円の増額(現行は一回九〇〇円・四年間に八回払)をお願いする次第です。